



シラバス参照

タイトル「**2015年度 観光学部シラバス**」、フォルダ「**2015年度 観光学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	レジャー空間文化論		
担当教員	吉田 道代		
対象学年	2年	クラス	T1
講義室	E-301	開講学期	前期
曜日・時限	火4	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考			
科目名 (英語表記)			
授業の概要・ねらい	近代化以降の日本におけるレジャー政策は、経済成長の促進という政府の目的に沿ったものであり、西欧的基準に合わせつつ日本らしさという文化的独自性の実現を追求するという側面も持っている。本授業では、こうした日本のレジャー政策がどのように構築され、日本にどのようなレジャー空間を生み出してきたかを分析し、レジャーとこれに関わる政策およびその影響について理解を深めることを目的とする。		
授業計画	回	内容	
	1	日本におけるレジャー政策史：講義の目的・概要	
	2	日本の行政：レジャー政策を生み出す制度的土台	
	3	レジャー政策史(1)：封建時代のレジャー	
	4	レジャー政策史(2)：明治維新から第二次世界大戦まで—近代化の中のレジャー政策	
	5	レジャー政策史(3)：1940年代①—第二次世界大戦末期のレジャーの規制	
	6	レジャー政策史(4)：1940年代②—第二次世界大戦後のレジャーの復活	
	7	レジャー政策史(5)：1950～60年代—高度経済成長とレジャーの重視	
	8	レジャー政策史(6)：1970年代—レジャー政策の本格化	
	9	レジャー政策史(7)：1980～90年代①—経済成長とワーカホリック批判	
	10	レジャー政策史(8)：1980～90年代②—ライフスタイル改善の手段としてのレジャー	
	11	レジャー政策史(9)：1980～90年代③—日本人による海外進出とレジャー政策	
	12	レジャー政策史(10)：1980～90年代④—海外経済支援としての観光関連政策	
	13	レジャー政策史(11)：2000年代—縮小する余暇行政	
	14	グローバル化の中の日本イメージとレジャー：西欧化と独自性の追求のはざままで	
	15	確認テストと解説	
到達目標	日本のレジャー政策の基底にある政府の動機・意図を読み取り、その特徴を分析する力を養成する。		
成績評価の方法	授業への積極的参加と授業時間内に提出する課題、最終回の確認テストの結果で総合的に評価する。		
教科書	指定しない。		
参考書・参考文献	Leheny, D. 2003. The rules of play: National identity and the shaping Japanese leisure. New York: Cornell University Press. その他必要な文献・資料については、授業時間内に適宜指示する。		
履修上の注意・メッセージ	履修者数に応じて成績評価の方法を変更する可能性がある。変更の場合には、授業中に通知する。		

履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	
授業時間外学習についての指示	授業中に配布した資料やノートを参照し、自主的に復習を行うこと。
その他連絡事項	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.